

# しちがはま 議会だより

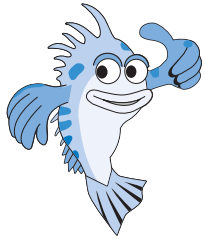
No. 120

平成26年7月15日  
宮城県七ヶ浜町議会



町民の生命は  
我らが守る！

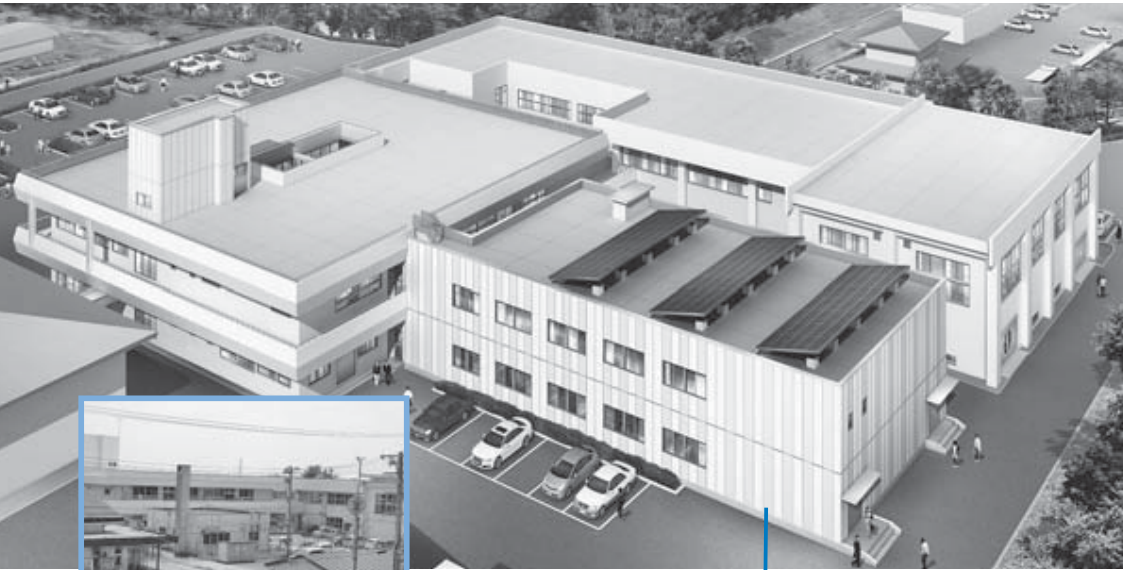
特集 防災拠点施設を整備	2
各地区で聞いてきましたー議会報告会ー	4
人口減少の対応策など	10人が質問 12
おらほのサークル紹介シリーズー第2回ー	23



# 生涯学習センターを 防災拠点に整備します

平成26・27年度で

6月  
定例会



生涯学習センターを改修して

ロビー、軽運動場を復旧。  
図書コーナーを設置。  
受電、消防、非常放送、給湯などの設備や受水槽の改修。

27年12月完成予定

鉄骨造り2階建てを増築

- 1階 談話室、会議室、視聴覚コーナー  
自動発電装置機械室
- 2階 大会議室 (260人収容)
- ※ 渡り廊下、エレベーター、多目的トイレ

27年10月完成予定

平成26・27年度で

### 【災害対策本部の設置基準】

- ・宮城県に大津波警報（特別警報）が発表された場合。
  - ・町内に震度5強以上の地震が発生した場合。
  - ・一定の町域に災害が発生し、または発生する恐れがある場合。
  - ・一定の町域に災害応急対策を必要とする場合。
  - ・災害救助法の適用を要する災害が発生したとき。
  - ・その他、町長が必要と認めるとき。
- ※ 本部長一町長 副本部長一副町長、教育長

町は災害時の  
応急対策にあたるため、  
災害対策本部を設置。

設置場所は役場庁舎に



水道庁舎へ移設します



被災して  
使用できない  
時は

被災して  
使用できない  
時は

6月定例会を6月4日から6日までの会期で開催しました。復興関連事業の契約や条例改正、補正予算等9議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。また、一般質問は10人が町の考えをいただきました。特集は、災害対策本部の補助機能として整備する防災拠点施設の内容をお知らせします。



安全で安心して住むことができる七ヶ浜にしてほしいね。そうだね。「自分の命は自分で守る」を基本に、住民一人一人が災害への対策をすることが重要なんだよ。



主に次のことをするよ。  
● 本部長が、被災情報を収集・整理して町本部へ提供するとともに連絡調整にあたる。  
● 町本部からの情報を、議員へ的確に提供する。  
● 被災の実情を踏まえ、国や県関係機関などへ要望活動を行う。



議会は何もしないの？  
町が対策本部を設置した時は、議長を本部長とした議会災害対策調整本部を24年3月1日に設置して活動しているよ。



もし、役場が被災した時はどうなるの？  
その時は水道事業所に設置するけど、両方とも被災した場合は生涯学習センターが本部になり、警察や消防、自衛隊などの関係機関と連携して応急対策をとるんだ。



災害対策本部のことを教えて。  
上の表のような災害の時は、役場内に本部を設置するんだ。町長が本部長になり職員を配備し、住民の生命や財産を守るため、町内の被害調査や情報収集などを行うよ。



拠点の役割は？  
災害対策本部を補助し、災害時の救出・救助や避難誘導、医療・援護などを行うんだ。

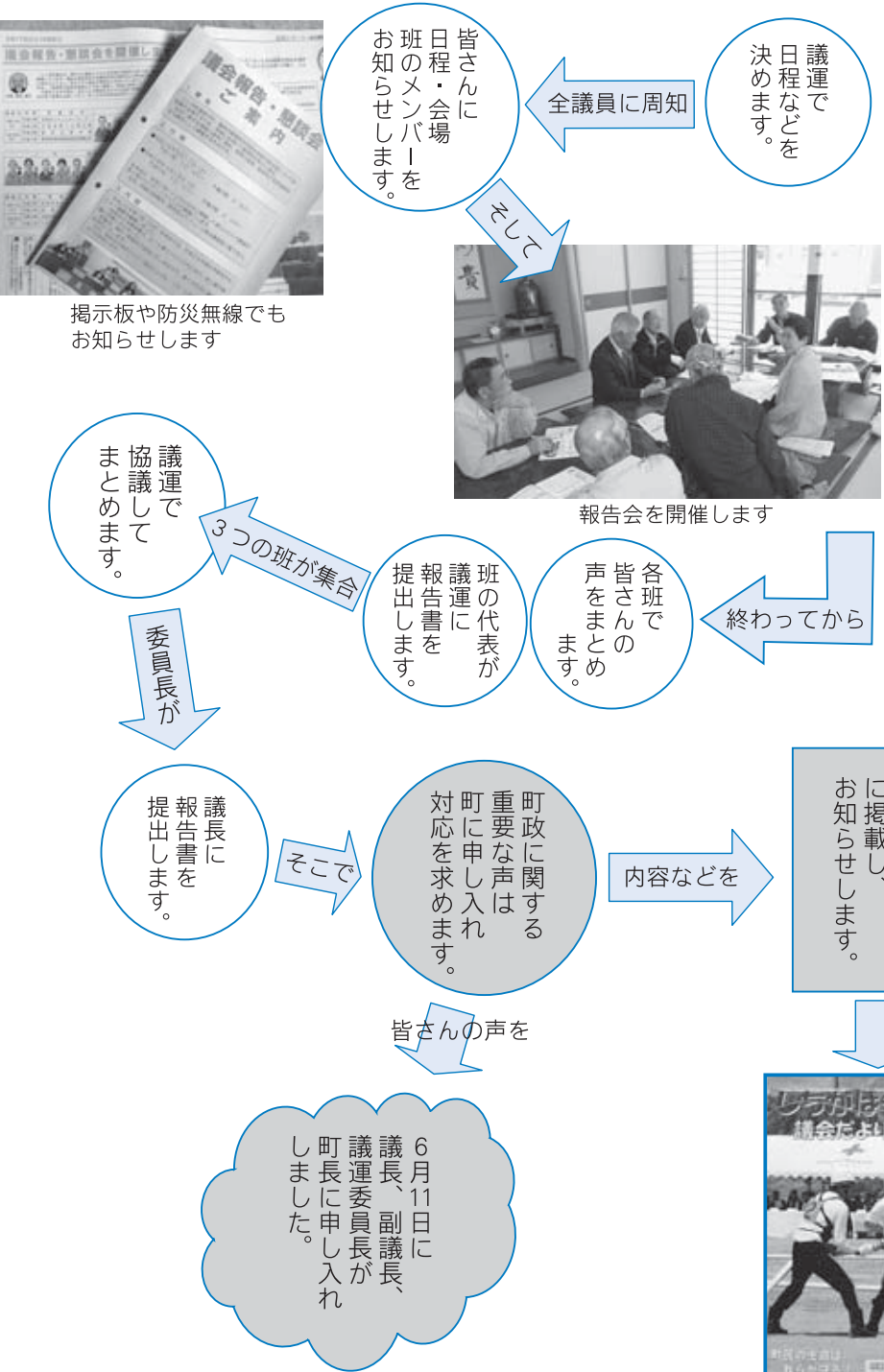


生涯学習センターの敷地内に増築棟を設置し、さらに現在ある建物を改修して防災拠点施設に整備するのはどうしてなの？  
3年前の東日本大震災のことは忘れていないよね。巨大津波で役場が被災して応急対策ができなかった自治体があったんだ。そのため、七ヶ浜町は今後の災害に備えて安全な場所に拠点をつくるんだよ。



素朴なまごころのこころ

# 報告会の流れ



# 膝を交えて懇談しました

第6回 議会報告懇談会  
5月17日(土)と18日(日)に開催



**議運運営委員会**  
(以下議運)

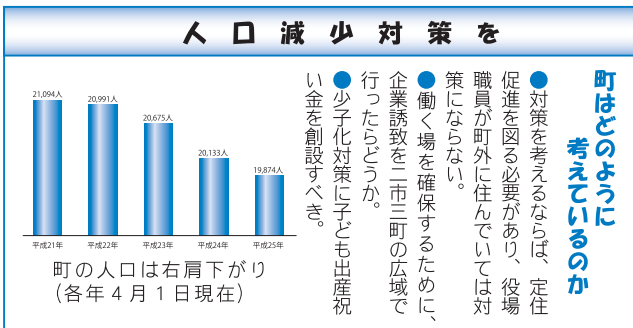
委員長 大町睦夫

議会の説明責任を果たし、住民の皆さんとの意見交換の場として平成23年度にスタートした議会報告会も6回目となりました。土・日曜日の午前10時および午後2時の開会でしたが、12会場に合計で85人の方に参加していただきました。

今回は、3月定例会の報告のあと、皆さんとザックパランな懇談会を実施しました。各会場での貴重な声は、今後の議会活動に反映していきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。



# こうしてほしい 町への意見・要望



### 復興関連事業で

やっと決まった土地だけど

#### 高浦田浜中田地区では

- 団地造成が完了し引渡されたが、のり面の土留めや基礎工事の土砂搬出も自己負担である。補助金対策を願いたい。
- 地鎮祭後に、町から土地の評価額が上昇したので販売価格が上がったと通知があった。なぜ説明会で知らせなかったのか、納得できない。

### 公園墓地事業の

**問** 予算で前年比6840万円増額だが内訳は、慰霊碑の工事費も含むのか。

**答** 増額は、新たに整備するEブロック(369区画を予定)の工事請負費などであり、慰霊碑は一般会計の復興交付金で建立する。

### 給食センターは

**問** 開所したが、食材を地元からの位調達できるのか。

**答** 米や玉ねぎなどが、量は承知していない。

# ここはどうなのか 質疑・応答

### 復興事業計画に

造成中の高台住宅団地(笹山地区)

**問** 議会はどのような対応をしているのか。

**答** 東日本大震災復興対策特別委員会、計画の進捗状況や工事内容など担当課に説明を求めるとともに現地視察を行っている。

### 環境のために

七ヶ浜の観光名所ですよ

- 多聞山の民有地を含む遊歩道の整備をしてほしい。
- 汐見台地区では空き家が増え、雑草などで非常に環境が悪くなっている。環境改善や人口増加策のためにも、空き家を解消する考えを町に期待する。
- 海苔共同加工場施設から排水が海に直接流されている。また、海苔網などからハエや虫が発生しているため対策を願いたい。

### 慰霊碑を

震災犠牲者を慰めるために

**問** 公園墓地の連沼苑に建立するが、将来の管理は誰が行うのか。

**答** 墓地の管理と同様に町が管理する。

**意見** 高浦田浜の海岸付近や忠霊碑付近、国際村などの場所が良い。

● 津波に関係がない場所に入りは行かないと思う。

● 現実には起きた災害を広く知らせる必要があり、多くの人の目に付く場所でないという意味がない。

● 議会は場所の選定に議論を尽くすべきではないか。

### 安心・安全な暮らしには

昨年の記念品

- 主要道路の復旧工事は進んでいるが、狭い道路やマンホール降り改修を早くしてもらいたい。
- 歴史資料館周辺と港湾道路沿いに防犯灯の増設を。
- 災害時、避難場所になる汐見小学校舎の開設は誰が行うのか。地区には知られているのか疑問である。
- 高台住宅や災害公営住宅への移転で、仮設住宅に最後まで残される高齢者へのケアはどのように考えているのか。
- 仮設住宅にハチやネズミ、ナメクジ、アリ、毛虫などが発生しているため調査と対策を願う。
- 敬老会への参加確認は往復はがきでお願いたい。記念品のバックに敬老会のプリントは、「私は老人ですよ」と言っているようではないか。

### 避難所建設の

**問** 契約が進んでいるが、付帯工事として建物内の備品なども含まれているのか。

**答** 付帯工事は駐車場が含まれている。流失と新規の避難所は、備品など150万円の補助を検討中である。

**問** 湊浜分館の解体費用は町で調整中だが、要害分館も同じ対応してもらいたい。

**答** 町では備品も含めて調整中と聞いている。

### 町民バスぐるりんこは

**問** 日中の増便とルート変更を再考してほしい。

**答** 大幅な改定時に見直す予定と聞いている。新しい団地もできるので議会からも要望したい。

**要望** 花浜だけ県道のみでの運行だが地域内の運行も望む。また、塩釜までの時間を短縮できないか。

# 議案審議

6月定例会では、業務系用地の賃貸に関する条例の一部改正や工事契約、人事などの議案を審議しました。また、平成26年度一般会計補正予算(第2号)は、歳入歳出それぞれ**7063万円**を追加し**217億8819万円**となりました。議案、補正予算とも全て反対なく可決しました。



屋根を借りたソーラーパネル

**●財産の交換譲与等に関するもの**  
 内容 業務系用地を安く貸し出すこと、町営住宅等の屋根や壁を貸し出す条例を改正する。

## 質疑

**問** 業務系ゾーンの土地に、店舗や倉庫を建設する目的の貸し出しはできるのか。  
**答** 町長 条例の使用目的に倉庫や店舗の記述はないが、町長の判断したものや目的に類するものは貸し出せる。

## 条例改正

## 諮問

**人権擁護委員を再任(任期は3年)**  
 伊藤せい子さん(64歳) 星徳光さん(65歳)



## 補正予算

**災害公営住宅を対象に高齢者見守りを支援**

## 質疑

**高齢者見守り支援に(143万円)**

**問** 事業内容は。  
**答** 健康増進課長 被災地域の新たなコミュニティにおける高齢者見守り支援事業である。今回は災害公営住宅の内、松ヶ浜と吉田浜地区を対象として、高齢者の見守り支援を社会福祉協議会と共同で実施する。



みんなで運動を

**被災した要援護高齢者の運動教室に(326万円)**  
**問** 健康増進課長 二次予防としての運動プログラムを準備する。以前の元気茶屋でアクアゆめクラブに委託する。  
**答** 健康増進課長 二次予防としての運動プログラムを準備する。以前の元気茶屋でアクアゆめクラブに委託する。

**請願** 地域包括ケアシステム構築のため地域の実情に応じた支援を求める  
**内容** 医療・介護・福祉の良質な人材を確保する抜本的な対策などを国に求めるものです。  
**請願者** 公明党 塩釜総支部 総支部長 根本 朝栄 処理状況 教育民生常任委員会に付託

## 第2回定例会 提出議案採決結果一覧 (6/4~6/6)

議案名	掲載ページ	賛成	反対	議決結果	阿部慶也	我妻周悦	千葉志美枝	郷右近剛史	歌川渡	遠藤久和	角靖志	大町睦夫	糸久博	遠藤喜二	鈴木勝美	渡邊淳	阿部和夫	鈴木初雄	岡崎正憲	佐藤梶信	
財産の交換、譲与等条例の一部改正	8ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約「平成26年度松ヶ浜地区避難所建築及び環境整備工事」	8ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約「平成26年度町道笹山線道路改良工事」	8ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約「平成26年度防災拠点施設(生涯学習センター)整備工事」	8ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負変更契約「平成24年度菖蒲田浜中田地区高台住宅団地造成及び公共施設整備工事」	8ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負変更契約「平成25年度花洲浜五月田地区災害公営住宅造成工事」	8ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得(七ヶ浜中学校備品)	8ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度一般会計補正予算(第2号)	8ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度水道事業会計補正予算(第1号)	—	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対 議長(佐藤梶信)は採決に加わらない。

## 臨時議会

5月8日に第1回臨時会を開催しました。2つの工事請負契約や一般会計補正予算(第1号)等を審議し、原案のとおり可決しました。

### ※1 専決処分の承認

●町税条例等の一部改正  
 内容 法人税割の税率の引き下げや軽自動車税の税率の引き上げ等の追加

**問** 軽自動車税の税率はどのくらい増えるのか。  
**答** 税務課長 平成27年度では4・4%、平成28年度では17・27%の増収を見込んでいる。

### 討論

反対 歌川 渡 軽自動車への増税は、町民に対し、さらに重い負担を課すものであり認められない。

承認の採決結果  
 賛成13  
 反対2  
 (歌川 渡 遠藤久和)  
 賛成多数で承認

### 工事契約

●共同乾燥調整施設  
 建設新築  
 契約先 (株)諏訪工務店  
 金額 7334万円  
 工期 平成26年8月29日

### 質疑

**問** 工事内容は。  
**答** 産業課長 建築場所は吉田浜の中田、構造は鉄骨造の一部2階建てで面積は309㎡。中に米の乾燥機が入る予定。

### 質疑

●湊浜地区避難所建築  
 および環境整備  
 契約先 (有)鈴勝建設  
 金額 7992万円  
 工期 平成26年11月28日

**問** 一般競争入札に何社参加したのか。  
**答** 財政課長 参加者は7社。(町内5社)

## 第1回臨時会 提出議案採決結果一覧 (5/8)

議案名	掲載ページ	賛成	反対	議決結果	阿部慶也	我妻周悦	千葉志美枝	郷右近剛史	歌川渡	遠藤久和	角靖志	大町睦夫	糸久博	遠藤喜二	鈴木勝美	渡邊淳	阿部和夫	鈴木初雄	岡崎正憲	佐藤梶信	
専決処分「町税条例等の一部改正」	9ページ	13	2	承認	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分「国保条例の一部改正」	—	15	0	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分「都市計画税条例の一部改正」	—	15	0	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約「平成25年度共同乾燥調整施設建屋新築工事」	9ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約「平成25年度湊浜地区避難所建築及び環境整備工事」	9ページ	14	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度一般会計補正予算(第1号)	—	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対 退は利害関係者につき退席 議長(佐藤梶信)は採決に加わらない。

### ※1 専決処分の承認

専決処分とは町長が議会で代わって意思決定を行うことであり、専決処分をした場合は、次の議会で報告し承認を求めなければならない。

# 追跡



どうなったの？

## ● あの質問のゆくえ ●

今回は「婚活」と「看板の設置」を取り上げました。

<p><b>町で「婚活」を</b></p> <p>町は婚活イベントを企画し、開催すべきと思うが。(平成25年11月議会報告会)</p>	<p><b>「婚活」町で支援を</b></p> <p>結婚を考えながらも出会うの機会が減少している。独身男女の交流「婚活」を町で支援する考えは。(平成21年9月定例会)</p>	<p><b>スピードを落とす立看板の設置を</b></p> <p>七ヶ浜中学校グラウンドの仮設住宅は、工事関係者などの車が往来するが、減速しないので危険であり騒音も気になる。入口に注意を促す立看板の設置を。(平成24年11月議会報告会)</p>
<p>↓ 答弁 ↓</p>		
<p><b>議会の回答</b></p> <p>町は県と共催で、年1回の結婚相談会を実施。アクアゆめクラブでは、スポーツ婚活や楽天イーグルスの試合観戦などの企画を行っている。</p>	<p><b>町長：地域に問題を提起</b></p> <p>今後、町内の各種団体や事業者、各地域の人々に問題を提起していく。</p>	<p><b>議会の回答</b></p> <p>早急に対応する。</p>
<p>↓ そして ↓</p>		
<p><b>町では</b></p> <p>今後も中央公民館で年1回49歳までの方を対象に、みやぎ青年交流推進センターの相談員が結婚全般にわたる指導・助言を行います。</p>		
<p><b>アクアゆめクラブでは</b></p> <p>平成25年度からスタートしたばかりですが、これからもスポーツ婚活を中心に幅広く呼びかけ、出会いの場を提供します。</p>		<p>担当課に申し入れ、七ヶ浜中学校美術部の生徒たちによる、徐行を促す手作りの立看板が設置されました。</p>
<p><b>民間のイベント</b></p> <p>将来的には「街婚」ならぬ七ヶ浜で開催する「浜婚」を企画していく予定です。カップル誕生が楽しみですですね。</p>		

# 委員会レポート

## これも議会の仕事です

### 教育民生

#### 本町の二学期制の動向を見守る

● 昨年10月から所管事務調査「学校教育環境の充実」として、  
 ① 学校二学期制の検証。  
 ② 被災児童、生徒への支援。  
 ③ 七ヶ浜中学校と給食センター1建設の進捗状況。以上の3点を担当課から説明を受け、先進地視察等を行ってきました。5月22日に開催した委員会では学校二学期制の検証をまとめ、次の点を確認しました。  
 ● 二学期制でも三学期制でも、学力向上では特段の差はなく影響が少なくない。  
 ● 三学期制に戻した町では、高校入試の生徒評価の範囲が広がる。



一斉下校の訓練 (汐見小)

● 県内36市町村のうち7市町村だけが二学期制を実施している。今後は保護者や教師、学校など関係者から要望・意見等の動向を見守ることとし、調査を終結することになりました。新たに「地域福祉の充実策について」を調査することになりました。

### 総務

#### 利用者に愛されるバス

「へるりんご」運行の検証と改善」を所管事務調査事項として調査、検討を進めてきました。3月の定例会における一般質問の回答で、ある程度町の考えが判明したことや、3000円回数券の発行が具体化し運行会社側での検討に入っていることが確認できました。(7月から実施)  
 議会報告会では、依然として日中の増便が必要との意見も強いので、公共交通会議での審議内容や、その後の取り組みを最終的に確認することとしました。

### 産業建設

#### 東松島市と北上沿岸土地改良区を視察

● 農地の復興対策のため平成26年3月3日、本町と同じような被害を受けた東松島市と、石巻市の北上沿岸土地改良区の視察研修を行いました。  
 ① 被災農地や復旧への取り組み状況。  
 ② 塩害等による農地の問題点。  
 ③ 将来に向けた農業再生への課題。  
 などの貴重な意見交換をすることができました。4月22日委員会を開催し、次のとおり視察の総括を行いました。  
 ● 農業生産組合の法人化が必要。  
 ● 複合経営による生産体制の構築。



東松島市を視察しました

● 水を確保するための水路や排水路の整備。また、これまでの問題や課題等を6月定例会で2人の委員が一般質問(18・19ページ)をすることとし、本調査を終結しました。次回からは新しく「観光振興策」の調査活動を行っていきます。

# 学校給食無料化など 少子化対策を

## 町長 復興優先財政下での実施は難しい



おかざき まさのり  
岡崎 正憲



給食ばんざい (汐見小)

**問** 5月8日に、民間の「日本創成会議」から東北(福島県を除く)の137市町村が削減する可能性があるという衝撃的な発表があった。本町も少子化対策や若年層の定住化は緊急の課題であり、その一つの施策として有効で現実的な学校給食の無料化を実施できないか。

**答** 町長 少子化対策は現在の人口構成や転出・転入の動向、出生率の現状を分析し、広域的視野に立って改善策を見出したい。子どもと子育てをしている親が幸せになること。それを見て子どもを持ちたいと願えること。それが実行できる環境の整備が一番大事と考える。

**問** 小学校と中学校の修学旅行に、限度額を設定し費用の一部を補助することはできないか。

**答** 財源を考えると困難である。

**問** 議会報告会で「子供遊び場が少ない。町の運動施設を借りることもあるが小遣いが間に合わない。利用料の子ども割引を」との意見もあった。事の大小ではなく少子化対策や若年層の定住化に繋がる可能性のある対策を実施できないか。

**答** 補助金で少子化対策に効果があった例は聞いていない。復興に多額の資金が必要で難しい。新しい少子化対策は、現状を踏まえて今後とも検討すべきとの認識である。



## 一般質問一覧表

6月定例会の一般質問は、4日と5日の2日間行い、10人が活発な議論を展開しました。内容は質問者の原稿を原文に近い形で13ページから22ページに掲載しています。なお、タイトルは通告のとおりです。

**岡崎 正憲** ..... 13ページ

- 有効で現実的な少子化対策を
- 高い温室効果があるガスの適切な処理を

**糸久 博** ..... 14ページ

- 人口減少への対応について
- 補助金の検討について

**鈴木 勝美** ..... 15ページ

- 人口増加策について
- 若者の雇用対策について

**千葉志美枝** ..... 16ページ

- 子育て支援の更なる充実を

**歌川 渡** ..... 17ページ

- 多聞山展望公園内トイレの改修について
- 被災住民の方の経済負担軽減のための生活再建づくりのために
- 地方教育行政法の改正について

**渡邊 淳** ..... 18ページ

- 農地の復興対策について
- 治水安全度の数値を公表する考えについて

**郷右近剛史** ..... 19ページ

- 農地の復興対策について
- 松ヶ浜小学校で起きた調理実習中の事故について

**遠藤 久和** ..... 20ページ

- 鶴ヶ湊地区の雨水排水対策について

**遠藤 喜二** ..... 21ページ

- 七ヶ浜特産のポッケを町のブランドにして産業の活性化を図る考えは

**角 靖志** ..... 22ページ

- 海岸のゴミ問題について

ズバリ

# 町政を問う

## フロンガスの適切な処理は 町長 適正かつ慎重に対処したい

**問** 地球温暖化防止が叫ばれている現在、フロン法の改正法が公布され平成27年4月には全面施行される。東日本大震災で解体撤去された公共施設の中にはフロン類の処理が必要とされたものがある。数量把握や処理はどのようにしたか。

**答** 町長 公共施設では、七ヶ浜中学校のエアコンと学校給食センターの冷凍冷蔵機器などが該当した。フロン破壊処理証明書等適切な処理を行った。

**問** 今後、発注体制や管理をどのように進めるか。

**答** 「フロン類放出の禁止」を厳守し、適正かつ慎重に対処したい。



つみ 美 勝 鈴木 美勝

# 補助金等で少子化対策を図れ

## 町長 有効な対策と言えない

**問** 新築の住宅購入の住民や転入者世帯に対する補助金制度を設ける考えは。

**答** 県内では少子化対策のひとつとして8つの市町で出産祝金や記念品を支給している。しかし、出生数の増加にはつながっていないのが現状で有効な少子化対策とは考えられない。

**問** 少子化に拍車がかかっている。全国的に子どもの数が33年連続で減少しているのが現実で平成26年度の施政方針では人口増加策の具体的な言及がなかった。人口減少の歯止めと定住促進を図るための第2子以降の出産祝金や、育児に関する補助金等子育て世帯への支援拡充の考えは。

**答** 定住促進にかかる補助金交付制度を取り入れている自治体の人口動向を確認しても、人口減少に歯止めがかかる明らかな効果が見えていない。

【子どもの数】 (人)

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
国	1701万0000	1683万9000	1670万5000	1654万8000	1639万0000
県	31万5170	31万1973	30万8049	30万3804	30万1821
七ヶ浜	2990	2931	2823	2669	2570

【人口1000人に対する1年間の出生数】 (人)

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
国	8.47	8.48	8.33	8.23	—
県	8.15	8.21	7.79	8.12	8.20
七ヶ浜	6.64	6.34	4.79	5.46	5.30

【出産祝金等実施市町一覧】

市 町	名 称	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子	
白石市	誕生祝い金	1万円	1万円		2万円		商品券
角田市	出産祝金	1万円	1万円		3万円		
栗原市	すこやか子育て支援金	2万円	2万円	5万円	10万円	20万円	
七ヶ宿町	出産祝い金	1万円	1万円	30万円	(すこやか子育て支援金)		第1・2子商品券
蔵王町	すこやか養育助成金	10万円	30万円		50万円		
村田町	すこやか出生祝金	—	5万円	10万円	20万円	30万円	
川崎町	健やか誕生祝金	—	—	(第1子出産以前から町民)		30万円	
加美町	子育て応援出産祝金	2万円	2万円	10万円(商品券+現金)			第1・2子商品券

## 若者の雇用対策を 町長 漁協に提案していきたい

**問** 本町では海苔の生産工場をはじめ復興支援がなされているものの一次産業は後継者不足が問題となっている。近隣の高校の取り組みで学生が一次産業の生産から加工、販売までを体験し就

**答** 町長 海苔の協業施設への雇入れや刺網等の漁船漁業への乗船

への就労へ高校生だけでなく転職者も含め、また町内に限らずやる気のある人材を求めていく必要がある。今後漁協に提案していきたい。



いと ひろし 久 博

# 定住人口の確保策は

## 町長 団地や住宅の整備を進める

**問** 本町の人口は、平成3年に2万人を超えたが、6月1日現在では1万9534人である。先月、有識者でつくる団体の「日本創成会議」が将来の人口推計を基に試算した結果、26年後の2040年には七ヶ浜町も消滅可能性都市になると公表した。人口流出を防ぎ定住人口を確保する施策はあるのか。

## 補助金の有効活用を図れ 町長 目的が浸透している

**答** 町長 高台団地や災害公営住宅の整備を着実に推進し、町外に一時的に転出している被災者が一日でも早く戻っていただくことを最優先に考えている。

**問** 東北で最も面積が狭い本町の人口は、どの位が適正と考えるのか。行財政運営や、まちづくりの観点から2万人台を維持したい。

**問** 地域活性化を図る目的で、20年度から実施している「安心・元気な地域社会づくり補助金」がある。各地区に30万円を交付しているが、多くの地区では一時的な行事に使われている。これ地域活性化が図られていないか疑問である。

**答** 町長 区長からは、震災以降ハラハラになった地域住民の顔を確かするために、祭りなどのイベント開催は必要との意見が多い。補助金の目的が浸透していると思う。



ひとがいて、まちがある

**問** 人口減少に伴い、総合計画などの変更はあるのか。

**答** 町長 住宅の再建が震災復興計画との整合性を図り、適切な時期に見直す必要があると考えている。

**問** 長期総合計画(23年間)の前期基本計画は、震災復興計画との整合性を図り、適切な時期に見直す必要があると考えている。

**答** 町長 被災した地区のコミュニティセンターの維持や地域の絆づくり、また新しい地区が誕生することもあり、5年程度継続する必要があると考えている。



# 高台宅地造成の 擁壁設置は町で負担せよ

## 町長 1m以下は交付金対象外



うたがわ わたる  
歌 川 渡



住宅建築が始まる高台住宅

**問** 災害公営住宅に入居する被災者への経済支援として、国の家賃軽減5年間で、町独自支援でさらに延長する考えはないか。

**答** 町長 5年後の町全体の状況によることから、現段階で実施の有无は明言できない。

**問** 災害公営住宅の共益費も家賃低減と同様に減免すべきではないか。

**答** 住宅地内の共用施設を入居者に負担していただく。近隣の市町で自治体は負担していない。

**問** 他の市町がやらないからこそ、本町が先陣をきって被災者支援をすべきではないか。

**答** 財政上、そこまでの勇氣はない。

**問** 高台住宅造成での宅地境界の擁壁設置は1m以上を公費負担となっているが、すべてを公費負担で行うべきではないか。

**答** 1m以下の設置は過大な整備と見なされ復興交付金の対象外である。

**問** 先に移転先が決まっているの宅地購入であり、気に入らなければ他を探すと一般的な宅地購入とは状況が違う。抽選に外れば、条件の悪い土地を購入せざるを得ない。擁壁設置に新たな負担がかかり、負担の公平に欠けるのではないか。

**答** 復興基金や財政調整基金取り崩し等で年度事業を進めている。町独自支援は財源上厳しい。

**問** 国会で審議されている教育委員会制度はどのように変わるのか。

**答** 教育長 ①教育行政の責任の明確化。②総合教育会議設置や大綱の策定。③国の地方公共団体への関与見直しなどである。

## 教育委員会制度の改正は 教育長 責任の明確化など

**問** 自治体首長と教育委員会の権限はどう変わるのか。

**答** 首長は議会の同意を得て教育長の任免が直接できるようになる。

**問** 教育委員会や学校、児童・生徒に、より良い制度となるのか。

**問** 教育長は、今回の改正内容を必要と考えるのか。

**答** 現在は取り組んでみると評価は取り組んでみるとないと分らない。

**問** 教育長は、今回の改正内容を必要と考えるのか。

**答** 現在でも委員会の機能を果たしている。改正にとらわれず今後も充実していく。



多間山展望公園のトイレ

## 多間山公園の 公衆トイレを洋式に 町長 すぐの改修は難しい

**問** 多間山展望公園の公衆トイレの便座位置が前壁との距離が近く、使用に不便をきたしている。洋式トイレに改修すべきではないか。

**答** 町長 トイレレットペーパー補充箱を移動し、圧迫感の軽減を図った。

**問** 来園者に悪い印象が残る観光地にしないために改修すべきではないか。男女各一カ所の改修費100万円も出せないのか。

**答** 復興事業を最優先と考へ、今すぐの改修は難しい。

**問** 概算で300万円程度。再答弁で一カ所50万円。



チビッコ運転手（遠山保育所一時預かり）

**問** 子どもを預かってほしい人（利用会員）と預かることができる人（協力会員）が会員登録を行い、子育てを助け合うファミリー・サポート事業の導入を、平成22年9月定例会で求めたが、その後の進捗状況は。

**答** 町長 調査検討を進め、社会福祉協議会の機関誌で託児サポートの協力の募集を行った。8人の登録があったが、保育内容や料金等の問題から利用までには至らなかった。

**問** 町が実施した次世代育成支援アクションネットでは、この制度を利用したいと答えた人が多く、受けたい保育サービスの上位となっているが、具体的な理由は。

**答** 祖父母などに頼めない時や、子どもの病気がけがの緊急時に利用したい。また就労希望によるものが主なものである。

**問** 町が実施主体となり、会員同士の調整も含め、本事業を立ち上げるべきと思うが考えは。

**答** 子育て支援サービスのひとつとして、社会福祉協議会と連携を図っていく。近隣市町の取り組み状況など幅広く情報を集め、子ども・子育て支援事業計画の中で検討していきたい。

**問** 現行の小学校3年生までの利用対象を6年生までに拡大し、保護者の就労支援を行う考えは。

**答** 4年生でも利用したいという希望もある。今回のニーズ調査の結果や国の政策案を踏まえ、今後子ども・子育て会議で検討しながら、さらなる子育て支援や就労支援を行ってきたい。

**問** 平成27年4月に開始される子ども・子育て支援新制度に向け、ニーズ調査を実施したが、検証の結果は。

**答** 「日頃、お子さんが預かってもらえる人がおられますか」の問いに就学児・未就学児とも1割弱の人が「誰もいない」と回答している。人との結びつきが希薄化している現在、改めてファミリー・サポート事業を検討

**問** 現在、留守家庭児童クラブの利用率は小学校3年生までだが、アンケート調査の結果、そのようなニーズがあったのか。

**答** 「小学校高学年（4〜6年生）になったら放課後をどこで過ごさせたいか」の問いに、保護者からの回答では、児童保育館の利用希望者は2割未満である。



ちば しめき  
葉 志 美 枝

## 子育て支援のさらなる充実を 町長 ファミリー・サポート事業を検討

ファミリー・サポート事業が求められてきている。

**問** 児童保育館の利用希望者は2割未満である。



わたなべ あつし  
渡 邊 淳

# 農業用水の管理体制は十分か

## 町長 農業者から要望はない

**問** 石巻市の北上沿岸土地改良区では、塩分濃度自動観測器の導入を行い監視を自動化させている。観測装置の自動化のみならず循環型水利を一括して行えるよう情報通信技術を使った水管理システムを構築し、水利管理者に対し負担の軽減を図る考えはないか。

**答** 町長 七ヶ浜土地改良区から話が出た経緯はない。土地所有者の負担もあるので現状では難しい。

**問** 県では有機農業推進計画を策定し、農作物の生育管理を電子機器で監視記録している。市場で求められる「食の安全性」に対し消費者が眼に見て把握しやすいようになる。情報通信技術を導入し、食の安全責任の対応を図る考えはないか。

**答** 町長 有機農業を行うには化学肥料や農薬を使用しないというのが基本だが循環水利利用の本町の水田では困難と考える。また、それに難し組んでいる農家は少ない。

**問** 稲作が可能な塩分濃度は特に確立された数値はなく、これから経験と実績を積み最良の耕作方法を確立していく農家に対し、農業共済適合とならない1カ月内の立ち枯れに対し町独自の支援策は。

**答** 町長 農家から立ち枯れに対する支援要望はない。排水路や暗渠排水の整備により塩分濃度は低下するものと思われるため、特段の対策は予定していない。

**問** 阿川沼は他の貯水池とは異なり天然の貯水池であり、沼底より海水の浸透が利水後の水の塩分の影響かは解明されていない。利用可能な水の量を増やす施策に行政の支援は。

**答** 町長 現状で、水は不足していない。必要ないと考えている。

**問** 七ヶ浜土地改良区や七ヶ浜町地域農業推進委員会、生産組合からの要望もないので、考えていないか。

**答** 町長 七ヶ浜土地改良区や七ヶ浜町地域農業推進委員会、生産組合からの要望もないので、考えていない。

**問** 今後、本町の農業は複合経営による生産体制を構築する必要があると思われるが、そのような考えはないか。

**答** 町長 町では複合経営が必要であるとの思いは同じであり、やる気のある農家・生産団体があれば支援していく。



復興で改善された遠隔操作ゲート（巨理町）

# 農家の後継者・担い手問題は

## 町長 農家の方々の問題と認識



こうこん たけし  
郷 右近 剛史



担い手は大丈夫か

**問** 産業建設常任委員会の所管事務調査「農地の復興対策」として向うが、後継者・担い手問題で営農希望者を公募する考えはないか。

**答** 町長 農地を七ヶ浜町生産組合に集約していく方向性があり、町として営農希望者を公募することは考えていない。また、本町に営農希望者を募集しなければならぬ遊休農地はないと考えている。

**問** 今後、農業従事者の高齢化が進むと思われるが、今のうちから営農希望者を公募する必要があるのでないか。

**答** 町長 一部の農業関係者がいるので大丈夫」と言われた。この問題は行政の問題ではなく、農家の方々の問題である。

**問** 本町独自の施策はないのか。

**答** 町長 本町独自の施策はないのか。

**問** 町内の小学校で起きた調理実習中の事故を教育委員会はどう考えているのか。

**答** 町長 今回の事故は教育委員会の管理下の事故であり、全責任は教育委員会にあると考え、今後の事故防止に万全の構えで取り組む。

**問** 町内の他の小学校、中学校の児童・生徒やその保護者に対してもきちんと文書等で公表するべきでなかったのか。

**答** 町長 文書での公表の必要はない。しかし、校長には伝えており、学校の裁量に任せている。

**問** 調理実習の授業のみならず、事故が起こる可能性のある授業で事故防止のため、どのような改善策を講じたのか。

**答** 町長 学校教育の中で事故が起こる可能性のある授業を全部考えることはできない。

**問** 学校の起こる事故は、教師の目が行き届かないために起こる場合が多い。その状況を改善するため、事故が起こる可能性のある授業に、補助員として、地域の方々を配置する考えはないか。

**答** 町長 補助員を置かなくても学校生活ができるよう指導するのが教育と考えているので、補助員を置くつもりはない。

# 小学校での事故対策は

## 町長 万全の構えで取り組み

**問** 公表の必要はないというが、新聞に報道されてしまったがどう考えるか。

**答** 町長 新聞に報道されたこととは、それほど意に介する必要はない。また不都合が生じたということもない。

**問** 今後、本町の農業は複合経営による生産体制を構築する必要があると思われるが、そのような考えはないか。

**答** 町長 町では複合経営が必要であるとの思いは同じであり、やる気のある農家・生産団体があれば支援していく。

**問** 町長 集落単位の冠水安全対策は、所管する各課と防災担当が連携をとり対応する。

**答** 町長 冠水安全対策は、所管する各課と防災担当が連携をとり対応する。

**問** 雨水排水に關して治水安全度の数値を公表し、今回の震災対策で安全率が事業整備の前と後とでどれだけ向上するか町民に知らせ非常事態に備えるべきではないか。

**答** 町長 雨水排水に關して治水安全度の数値を公表し、今回の震災対策で安全率が事業整備の前と後とでどれだけ向上するか町民に知らせ非常事態に備えるべきではないか。

**問** 冠水安全対策は、町長 担当課が対応する。

**答** 町長 冠水安全対策は、町長 担当課が対応する。



えんどう よしじ  
遠藤 喜二

# ボッケの安定漁獲に町の支援を

## 町長 漁協が中心となって推進すべき



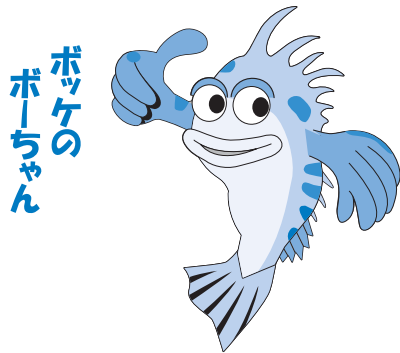
意欲ある若い漁業者

**問** センターで試験的にふ化および育成実験をしたが、餌代の負担が大きく共食いなどもあり事業を断念した。

**答** 町長 以前、町が所有していた水産振興センターで試験的にふ化および育成実験をしたが、餌代の負担が大きく共食いなどもあり事業を断念した。

**問** 育成には相応の時間と経費が必要となることから宮城県漁協が水産振興センターを所有しているの、ふ化、稚魚育成を漁協や組合員に働きかけていきたい。

**答** 町長 以前、町が所有していた水産振興センターで試験的にふ化および育成実験をしたが、餌代の負担が大きく共食いなどもあり事業を断念した。



ボッケの  
ボーちゃん



のりくん

**問** 町の直接支援はできないと思うが、漁協の後方支援や町に来る企業の支援をすることで、安定した税収や定住化が望めるのでは。

**答** 町長 本町の産業振興のためには、漁業も農業も同じ考えである。

**問** どのような方法で支援ができるのか。

**答** 町長 町の地域活性化になるものであれば、条例の一部改正をして災害で町が買い上げた業務用の土地は安く貸出しをしたい。

**問** 町のイメージキャラクターのボーちゃんや「のり君」の着ぐるみを作る考えは。

**答** 町長 現在、町観光協会や「ボッケのボーちゃん」の着ぐるみを会員自らが手作りで作成しようと意欲的に取り組んでいる。完成には、しばらくかかるが、完成したら何らかのイベントで披露したい。



えんどう ひさかず  
遠藤 久和

# 浸水対策を速やかに

## 町長 十分な対応をしたい

**問** 東宮浜鶴ヶ浜では、地盤沈下等により高潮や雨水による被害を防ぐ早期対策を望んできた。震災から3年が経過した今も住民の不安を解消できる対策がとられていない。他の地区と比較すると応急対策にも差が生じている状況である。そこで次の4点を伺う。

- ① 県が管轄する港湾の復旧工事との関連も含むが着工時期と期間は。
- ② 復旧工事の具体的内容は。
- ③ 工事完了までの応急対策の内容は。
- ④ 町としての今までの対策はどのようなものだったのか。

**答** 町長 東宮浜の皆さまには非常に心配をかけ申し訳なく思っています。県の復旧工事説明会が4月23日、24日あった。着工時期は9月県議会の議決後を予定。町も最終的なすり合わせの段階にきている。工事内容は、町道800mの高上げや側溝等排水施設の高上げである。対策に万全を期したい。これまでの応急対策の内容は、道路冠水対策として1200mの高上げや集水枡の高上げ、大型ポンプ（6インチ）1台をリースして対応してきた。工事完了まで今後も大型ポンプで対応したい。

**問** 6インチのポンプ1台だけの対応に不安を持っている。今まで住宅には大きな被害がなかったとはいえこれからは大丈夫とはいえない。台風などと大雨が重なった時も本当に大丈夫なのか。今の対応で本当に安心できるのか。住民の不安を取り除く説明、対応が必要ではないか。

**答** 住民に不安を与えているのは申し訳ない。ポンプ1台で大丈夫なのか、さらなる雨の場合にどういう対応するのかを地域の皆さんに担当課が説明するように対応したい。



集中豪雨への対策を強化して

**問** 住民の不安を取り除くということを念頭においた説明や対応が大事だ。これからは現実的な問題が生じてきているので、今までより不安を取り除くという対応が必要になるのでは。

**答** 今後の説明会を通じてそのようなことも含めて対応していきたい。

# 元気にはばたく わが町のサークル



やすし 志 靖 角 すみ

## 海岸のゴミ捨て防止対策は

### 町長 看板や注意喚起で対応

**問** 海岸やその周辺に捨てられるゴミが毎年問題になっている。湊浜では一昨年は震災による影響と思われる漂着ゴミが多かった。しかし、昨年は海岸を利用した人が捨てたと思われる花火やバーベキューの残り、空き缶などのゴミが多くなった。海岸を利用した人が、海岸やその周辺にゴミを捨てたり放置するのを防ぐために、どのような対策を講じているのか。

**答** 町長 砂浜の入り口付近には、町や町民有志の方、クリーンサポーター、サーファーの団体などがゴミ捨て防止を啓発する看板を設置している。また、地区の環境美化推進員の方にも、海岸に見かけた時は、ゴミを持ち帰るように注意喚起をお願いしている。

**問** 近隣住民に騒音等の迷惑がかかる深夜の花火に関して、平成21年3月定例会で議員が一般質問したが、その後の経緯はどうであったのか。また、今後どのように取り組む考えなのか。

**答** 町長 塩釜警察署七ヶ浜交番によれば、花火遊びに関する苦情件数は震災前に比較すると減少傾向にあるが、花火遊び自体の行為は少なからずあるとのこと。震災後の各地区の現状も考慮しながら、引き続き警察署や消防に巡回パトロールの強化を要望するとともに、消防団や防犯団体とも連携しながら対応していきたい。

**問** 既にある条例のゴミのポイ捨てや放置などの禁止に対して、罰則をつける考えは。

**答** 町長 検討した経緯はあるが罰則までは難しいのではないかと考えている。



ゴミ捨て禁止ポスターと花火ゴミ

**七ヶ浜町**  
**バレーボール協会**  
代表 伊藤喜憲さん(代)

**Q** 創立は。  
**A** 昭和52年4月。七ヶ浜町のバレーボール愛好者が集まり昭和50年に愛好会を設立したのが始まりです。



チームワークで勝利

**コーラルコンサート**  
代表 片桐まき子さん(亦)

**Q** 創立は。  
**A** 昭和52年公民館のコーラス教室から、55年にサークル活動となり、コーラルミュージットと命名し現在に至っています。



35周年コンサート



強烈なスパイク

**Q** 結成の目的は。  
**A** 町民の基礎体力作りと健康促進を目的として結成しました。

**Q** メンバーの構成は。  
**A** 町内から8チームと町外2チームで構成されていて、会員数は100人です。

**Q** 活動状況は。  
**A** 社会教育の一環として、町内の愛好者だけではなく隣接する市町とも交流しています。また、大きな大会は年間8回あります。七ヶ浜の大会はレベルが高いので、仙台などの他地区からも参加するチームがあります。

**Q** 議会や町に望むことは。  
**A** アクアリーナの使用料は町内のチームが半数以上ないと減免されませんが、震災後はチーム数が減っています。そのため、地元の協会が主催する大会はアクアリーナの使用料を減免してほしい。

**Q** 結成の目的は。  
**A** 歌の和、人の和を大切にしながら、地域に根ざしたコーラスグループでありたいと願い、生涯学習の友として歌い続けたいです。

**Q** メンバーの構成は。  
**A** 町内20人、町外3人の大和撫子の合唱団です。(笑)

**Q** 活動状況は。  
**A** 大きなステージを踏む行事は年4回あり、美しいハーモニイを目指し、毎週木曜日の夜7時から9時まで練習に励んでいます。

**Q** 振り返って思うことは。  
**A** 38年間継続できたことはどんな時でも前向きにとらえ乗り越えてこれたこと、みんなの底力、思いやりのある強い絆があったからだと思います。

**Q** 議会だよりの感想は。  
**A** レイアウト的にもとても見やすく、議会が身近になったような気がします。これからも紙面を通して、行政に関心を持っていきたいと思っています。



練習している大和撫子

# クイズ？

＜3択から選んでね＞

問1 平成26年6月1日現在で本町の人口は何人でしょうか。

- ① 約1万5000人
- ② 約1万9000人
- ③ 約2万5000人

問2 各地区に『安心元気な地域社会づくり』の補助金が交付されていますが金額はいくらでしょうか。

- ① 100万円
- ② 30万円
- ③ 5万円

問3 本町の小中学校は何学期制を採用しているでしょうか。

- ① 2学期制
- ② 3学期制
- ③ 4学期制

応募方法： はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢、  
議会へのご意見を書いてお送りください。

(メール可)

正解者の中から抽選で3人の方に図書券を  
進呈します。

あて先：〒985-8577七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5-1

七ヶ浜町議会事務局 議会だより係

Eメール gikai@shichigahama.com

締切り：平成26年8月14日 (当日消印有効)

前号の答え：問1 ③ 問2 ② 問3 ②

当選者：本田直美さん、平塚明美さん、  
尾川武雄さん

## 当選者からひと言

- 地域住民の声を聞き、より良い町づくりに務めてほしい。
- 待望の給食センターおめでとうございます。子どもたちに“給食はおいしい？”と聞くと“すごくおいしい”と喜んでいました。育ち盛りなので食欲旺盛、これからもよろしくをお願いします。

発行責任者	議長	副議長	委員	副委員	議員	議会広報編集特別委員会
佐藤 梶信	渡邊 淳	遠藤 喜二	角 靖志	千葉 志美	糸久 博	岡崎 正憲

「自利利他円満」という言葉どおり、自分だけ良くなるのではなく、皆共々良くなるよう互いに尊重し合いながら、町が早く元気になるように、これからの精進します。

## 表紙に寄せて

今回の表紙は、6月15日に行われた消防演習の1コマです。新人団員で、第一分団員の高橋優太さんに団員として思うことや議会のことを聞きました。

Q 新人消防団員として不安や心配なことは。

A 火災や天災に対し、自分が何も対応できなかった場合それがもっとも怖いです。

Q 命を守る上で大切なことは。

A 人を守るには自分も生きるようにしなければと思います。新人なので人を守ることは先輩の話聞いて、もしものときに備えたいです。

Q 議員に対する意見は。

A 活動内容が分かりにくい。もっと気軽に話せる身近な存在になってほしいです。

Q 町や議会に期待することは。

A 復興にもっと拍車がかかればと思います。



県の消防キャラクター消太くんと(前列右)

## 議会を監視するのはみなさんです。

一次の定例会は9月3日開会予定です

面倒な手続はございません。  
どなたでも気軽に傍聴することができます。  
お誘い合わせの上ぜひお越しください。  
詳しくは議会事務局まで TEL357-7435  
または、町ホームページ「町民便利帳」をご覧ください。

<http://www.shichigahama.com>

編集後記



先月から梅雨に入り、天候不順で憂鬱な日々が続きました。今回、表紙担当の私も憂鬱です。それは、前回での失敗を思い起こさせるからです。

さて、我が町では復興も形になってきて町民の活発な意見も出始め、元気な町民の姿が垣間見えるようになりました。課題や問題点も浮き彫りになりつつあり、その解決に向けては町民との話し合いが何よりも大切です。